

図書館だより

2017
10・11月号

CONTENTS

- ◆ Recommend books
- ◆ News
- ◆ Report ライブラリー・アテンダント活動報告

10月							11月						
日	月	火	水	木	金	土	日	月	火	水	木	金	土
1	2	3	4	5	6	7				1	2	3	4
8	9	10	11	12	13	14	5	6	7	8	9	10	11
15	16	17	18	19	20	21	12	13	14	15	16	17	18
22	23	24	25	26	27	28	19	20	21	22	23	24	25
29	30	31					26	27	28	29	30		

9:00-21:00
9:00-17:00

休館日
施設開放 (10:00-16:00)



三浦 奈都子 先生 (看護学部) おすすめ図書

「鹿の王」 上橋菜穂子 著
KADOKAWA (2014年)

2015年第12回本屋大賞本
第4回日本医療小説大賞受賞作

所在
4F開架
518.8:二

私は、小学生の頃からファンタジーとミステリー小説が大好きです。学校の図書館で出会ったコナン・ドイルの「シャーロック・ホームズ」やモーリス・ルブランの「アルセーヌ・ルパン」シリーズ、ミヒャエル・エンデの「はてしない物語」や「モモ」、トルキンの「指輪物語」などを時間のたつのも忘れて読み耽っていました。それは、年を重ねた現在も続いており、面白い本に出会うと寝る時間も惜しくなってしまいます。

今回ご紹介する「鹿の王」は、文化人類学者でもある上橋菜穂子さんの作品で、昨年私がうっかり朝を迎えたファンタジー小説です。ファンタジー小説となると毛嫌いする方もいると思いますが、この作品は感染や免疫を学べる医学書でもあり、バイオテロ、環境破壊、戦争を描く社会学書でもあり、生きること、死ぬことを考える哲学書でもあります。

主人公は二人、戦いの末に家族と仲間を失い孤独な奴隷となった中年男のヴァンと研究熱心な天才医術師のホッサルです。山犬に噛まれることで感染する黒狼熱という恐ろしい謎の病を中心に話は進み、そこには支配するものとされるものの様々な思惑が入り乱れています。免疫を得ていたために生存できたユナを拾い子として育てるヴァンは、家族を得て、仲間を得て、生きる意味（それは死の意味にもなるのですが）を見出していきます。ホッサルも黒狼熱の治療法を探すべく奔走します。一見、敵と味方、善と悪、生と死などが描かれているのですが、それは対立するものではなく、物語を通して語られるのは共生です。

本には「自ら死に、消える部分があって、はじめて、身体は、いまこの身体の形を成している。生きるだけでなく、死ぬこともまた、生き物の身体には、その生のはじめから仕込まれている。」とあります。また、「ひとつの個体に見えるけど、実際にはびっくりするほど小さな命がこの身体の中に生きていて、私たちが生かしながら、自分たちも生きていて、...病んだり老いたりして死んでいくと土に還ったり、他の生き物の中に入ったりにして命を繋いでいく。」ともあります。

普段はあまり考えないことですが、皮膚や腸の中には常在菌がおり、実はその菌のおかげで身体が守られ、日々私たちの身体の中でもプログラムされた細胞死（アポトーシス）が起こっています。世界という大きな視点で考えた時も、身体の中と同じように、何かを生かすために何かが無くなっています。細胞というミクロ的視点と、環境や世界というマクロ的な視点がつながり、連綿と続く生命を形作るということは、大変興味深いことです。さて、本書のタイトルである「鹿の王」とは、何のことでしょうか？気になった方は、是非読んでみてくださいね。



1. 蔵書リユース市のお知らせ

10/21 (土) 10:00~16:00
10/22 (日) 10:00~15:30

場所 メディアセンターA棟3階風のモント (図書館の隣)

大学祭で蔵書リユース市を開催します。
各学部関連の専門書、一般教養書、実用書など除籍した本を1冊100円で販売します。
どなたでも購入いただけますので、是非のぞいてみてください！



- ・お持ち帰り用の袋をご持参ください。
- ・お釣りの無いように、小銭のご用意をお願いします。



2. 図書館ランチ講座を 開催します！

10/26 (木) 12:15~12:45 **申込不要**

【講師】馬淵浩司先生 (ソフトウェア情報学部)
【場所】多目的スペース 風の蒙特

お昼休みに「図書館ランチ講座」を開催します。
先生方の研究や関心のあることなどに様々なお話を聞くことができます。昼食を持って、ぜひ気軽にご参加ください♪

～特設コーナーにて講座に関連する書籍の展示も行います～

ライブラリーアテンダント (LA) による
企画展示を開催中です！

3. 企画展示のお知らせ

今回のテーマは『LAおすすめ本』です。
図書館にある沢山の本の中から、ぜひ読んでほしい！という本を選書しました。
次はどんな本を読もうかなと悩んでいる方や何か読みたいなあと思っている方は、手に取ってみてくださいね！

展示期間：9月末～1月末まで
展示場所：入口正面 企画コーナー



ライブラリー・アテンダント (LA) 活動報告

こんにちは。LAの橋本です。
9月16日に紫波町図書館を視察しました。子どもたちの声や音楽の聴こえる賑やかな図書館で活気に満ちていました。

紫波町の産業支援に特化した企画展示を行っており、地域産業と図書館が協働で町を盛り上げるという姿勢に刺激を受けました。また、おはなし会の見学では、絵本の読み方のコツを教わることができ、とても貴重な機会になりました。大学祭で企画しているおはなし会に取り入れていきたいと思えます！



おまけ
～撮影風景～

10月発行の大学広報誌にLAが掲載されています！是非そちらもご覧ください。大学HPでも公開しています。



LAの
おすすめ

LA おはなし会 in ちびっこ広場

10/21 (土) 11:30～、13:30～

10/22 (日) 11:30～、13:30～

場所：社会福祉学部棟2階 プレイルーム



LAの照井です。LA初の取り組みとして、今年から読み聞かせの活動をしています。きっかけは6月24日に滝沢森林公園で行われたイベントです。初挑戦ということもあり緊張しましたが、真剣に聞いてくれる子どもたちの姿に、達成感ややりがいを感じました。

そこで、地域の方・子どもたちと交流できる機会でもある大学祭で、おはなし会を開催します！

どろんこ隊というサークル主催の「ちびっこ広場」にて行いますが、こちらは小さい子どもたちが楽しめるおもちゃや授乳・オムツ換えコーナーもあるので、乳幼児がいる方も安心してご利用いただけます。お子さんがいらっしゃる方は気軽に立ち寄っていただけたら幸いです。おはなし会を通じて沢山の子どもたちに会えることを楽しみにしています。



図書館だより

10・11月号 (第68号)
(平成29年10月1日発行)

編集・発行

岩手県立大学
教育支援室図書グループ

TEL : 019-694-2070
FAX : 019-694-2071